

学校教育目標

共に のびる ～「声」をかけ合い、「知恵」をだし合い、「汗」をながし合い～

横手市の教育目標と重点実践事項

- 郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手
- 〔重点実践事項〕
- (1) 「自ら学ぶ子ども」の育成をめざす授業改善への取組
 - (2) 関係機関との連携推進による特別支援教育、幼児教育の充実
 - (3) いじめ、不登校の早期発見、早期解消を実現する生徒指導体制の構築
 - (4) 将来を切り拓く力や望ましい職業観を育むキャリア教育の充実
 - (5) ふるさと横手を愛する心を育む「横手を学ぶ郷土学」への取組
 - (6) 安全・安心な教育環境の整備
 - (7) 横手市における中学校部活動地域展開等
 - (8) 正しい理解と望ましい食習慣を形成する食育の推進
 - (9) 教職員の働き方改革の推進

秋田県の学校教育が目指すもの

- 豊かな人間性を育む学校教育
ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり
- 思いやりの心を育てる
 - 心と体を鍛える
 - 基礎学力の向上を図る
 - 教師の力量を高める
- …最重点の教育課題…
- ・地域に根ざしたキャリア教育の充実
 - ・“「問い」を発する子ども”の育成

“目指す子ども像”と“自ら育む資質・能力”



子どもの実態

～ここが強み～

- ・明るく素直な子どもが多い
- ・他者を許容できる子どもが多い
- ・異学年間の結び付きが強い
- ・特支学級と通常学級の垣根が低い

～ここがもっと伸びる～

- ・目標実現に向けた計画的な取組
- ・公私の区別を意識した言動
- ・自分や他人のよいところを見付ける力
- ・よりよい自分、よりよい集団になろうとする意欲

地域の実態

- ・学校の教育活動への理解と協力
- ・学校行事への積極的な参加
- ・豊かな自然とそれを生かした施設
- ・充実した福祉施設（福祉のまち大森）
- ・農業を生かした地場産業企業
- ・充実したスポーツ施設
- ・世界的に活躍した偉人の存在
- ・協力的な就学前教育施設
- ・充実したICT機器
- ・異学年が交流できるホール

コミュニティ・スクール及びチーム担任制の仕組みを生かして
学校・家庭・地域で創り上げる“森の子”たちのための教育環境

「わたしはできる」「わたしたちならもっとできる」を育む 学びの庭
～ A(ありがとう)・I(いいね)のシャワーを森の子に～

一人一人が「できる」を育む 職員室

- 自分の「できる」を伸ばす研鑽を積み、子どもたちに学び続ける大人の姿を見せることができる教員が集う職員室
- 各自の「できる」を発揮し、分掌を守り分掌を越え、協働的に職務を遂行する職員室

一人一人が「できる」を育む 教室・フロア

- 子ども一人一人の可能性を引き出して、子どもが「できる」を実感できる活動が日常的に展開されている教室・フロア
- 子ども一人一人が「できる」を発揮し合い、協働的に取り組む楽しさと大切さが実感できる活動が充実した教室・フロア

一人一人が「できる」を育む 家庭・地域

- 家庭、地域を構成する当事者として、子どもたちが、自分の「できる」を発揮する喜びを実感できる家庭・地域
- 子どもたちが発揮した「できる」に対して、「ありがとう」が返ってくる活動の舞台となる家庭・地域

＜研究主題＞ 伝え合い 深め合い 自ら学びを創る子どもの育成(横手明峰中学校区共通)

一人一人の “?” が “!” に・一人一人の “!” がみんなの “!!” になる学び

全ての土台となるのが…

一人一人が自分の「できる」を最大限に発揮して、一人一人の子どもの「できる」を伸長させる教師集団

- 一人一人の子どもの安心・安全を第一とする
- 一人一人の子どもの自信をもって笑顔で向き合う
- 一人一人の子どもの観察に基づき、改善を図る

森の子DE・K I・R Uプロジェクト2025

○一人一人が「できる」を育む教室・フロアを実現するため

- ・一人一人が「!!」「!!!」を実感できる授業の展開(選択のオプションが準備された授業、教室内外の交流を積極的に取り入れた授業の展開)
- ・一人一人の「できる」が発揮される学級、学団経営の推進(学級目標、学団目標を意識した学級活動の実践 集団への貢献が意識できる係活動の充実)
- ・一人一人が学級の枠を越えて活躍する教育活動の充実(子どもの声を生かした児童会活動、学校行事の充実 学団活動の推進 各種コンクール等の活用)
- ・一人一人のよさや困り感を見逃さない支援の充実(チーム担任制による生徒指導の充実 自己有用感の変化を見取る児童アンケートの実施)

○一人一人が「できる」を育む家庭・地域を実現するために

- ・一人一人の「できる」を伸長する家庭との協働活動の推進(家庭との協働による自主学習、お手伝い、読書の奨励 学校報の発行等による活動成果の共有)
- ・一人一人のよさの伸長を促す地域との協働活動の充実(授業への地域人材の積極的活用 福祉教育を核とした校外体験活動の充実)
- ・一人一人の地域に対する関心や愛情等、内面的な心情を育む活動の充実(「郷土を愛する態度」を重点項目に加えた道徳教育の実践)

○“一人一人が「できる」を育む”を育む”職員室を実現するため

- ・一人一人の教師が「できる」を発揮する協働的な職場環境の確立(人事評価システムを活用した働き方改革の推進 学団ごとのチーム担任制による協働性の醸成)
- ・一人一人の教師の「できる」を伸長する職場環境の確立(人事評価システムを活用した自己研修の推進 研究主題を踏まえた計画的な校内研修の実施)

＜よりよい活動するためにーOODAループを取り入れた学校マネジメント＞

「各種アンケート、調査等のデータ分析」+「日常的な観察(Observe)」による状況判断(Orient)→迅速な意思決定(Decide)による即時対応(Action)